

「2020年ドバイ国際博覧会」現地レポート

2022年 5 月
大阪府・大阪市 万博推進局

1. ドバイ国際博覧会の概要

(1) ドバイ万博の概要

開催期間	2021年10月1日～2022年3月31日
開催地	UAE（アラブ首長国連邦）ドバイ
開催目的	国威発揚型（展示型）
テーマ	「Connecting Minds, Creating the Future（心をつなぎ、未来を創る）」
サブテーマ	(1) Mobility (2) Opportunity (3) Sustainability
会場面積	438ha
出展国	192カ国 【セルフビルド（敷地渡し方式）,モジュール（建物渡し方式）】
想定入場者	約2,500万人
実績入場者	<u>約2,410万人</u> （4/2ドバイ万博公社発表）



ドバイ万博会場 経済産業省HPより



Al Wasl Plaza ©Expo 2020 Dubai LLC – SO

1. ドバイ国際博覧会の概要

(2) 大阪・関西万博との比較

開催期間	2025年4月13日～10月13日
開催地	夢洲（大阪市臨海部）
開催目的	課題解決型（体験型）
テーマ	「いのち輝く未来社会のデザイン」
サブテーマ	Saving Lives（いのちを救う）, Empowering Lives（いのちに力を与える）, Connecting Lives（いのちをつなぐ）
コンセプト	People's Living Lab（未来社会の実験場）
会場面積	155ha
出展国	目標150か国、25国際機関（5/10現在 106か国、7国際機関表明） 【タイプA（敷地渡し方式）, タイプB（建物渡し方式）, タイプC（共同館方式）】
想定入場者	約2,820万人



2. ドバイ現地の状況

(1) 万博会場の概要

○会場ゾーニング

会場は3つのサブテーマ（「Mobility」・「Opportunity」・「Sustainability」）と3つのエリア（「Al Wasl」・「Jubilee」・「Al Forsan」）の6つのゾーンで構成されている。

○会場ゲート

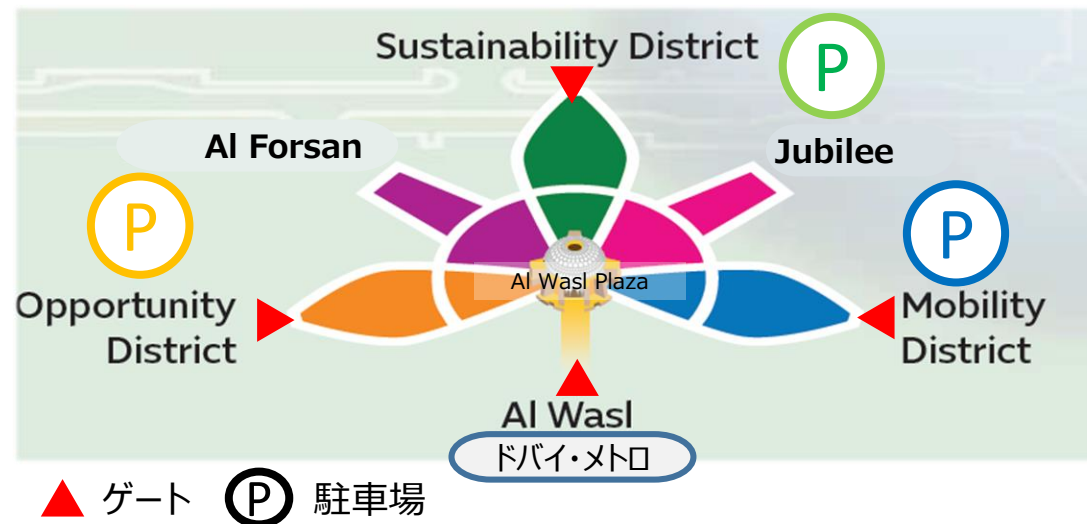
ゲート（出入口）は4つあり、メインゲートであるAl Waslゲートは、ドバイ・メトロ（鉄道）からの来場者を迎え、閉会式などの催事が行われるAl Wasl Plazaにつながる。

残り3つのゲートは駐車場からパークアンドライドにより3つのテーマゾーンにつながる場所にある。

○会期後

万博会場は万博開催後を見据えた都市計画に基づき整備されており、Al Wasl Plazaやテーマ館、モジュール館、UAE館を残すこととしている。

ZONES

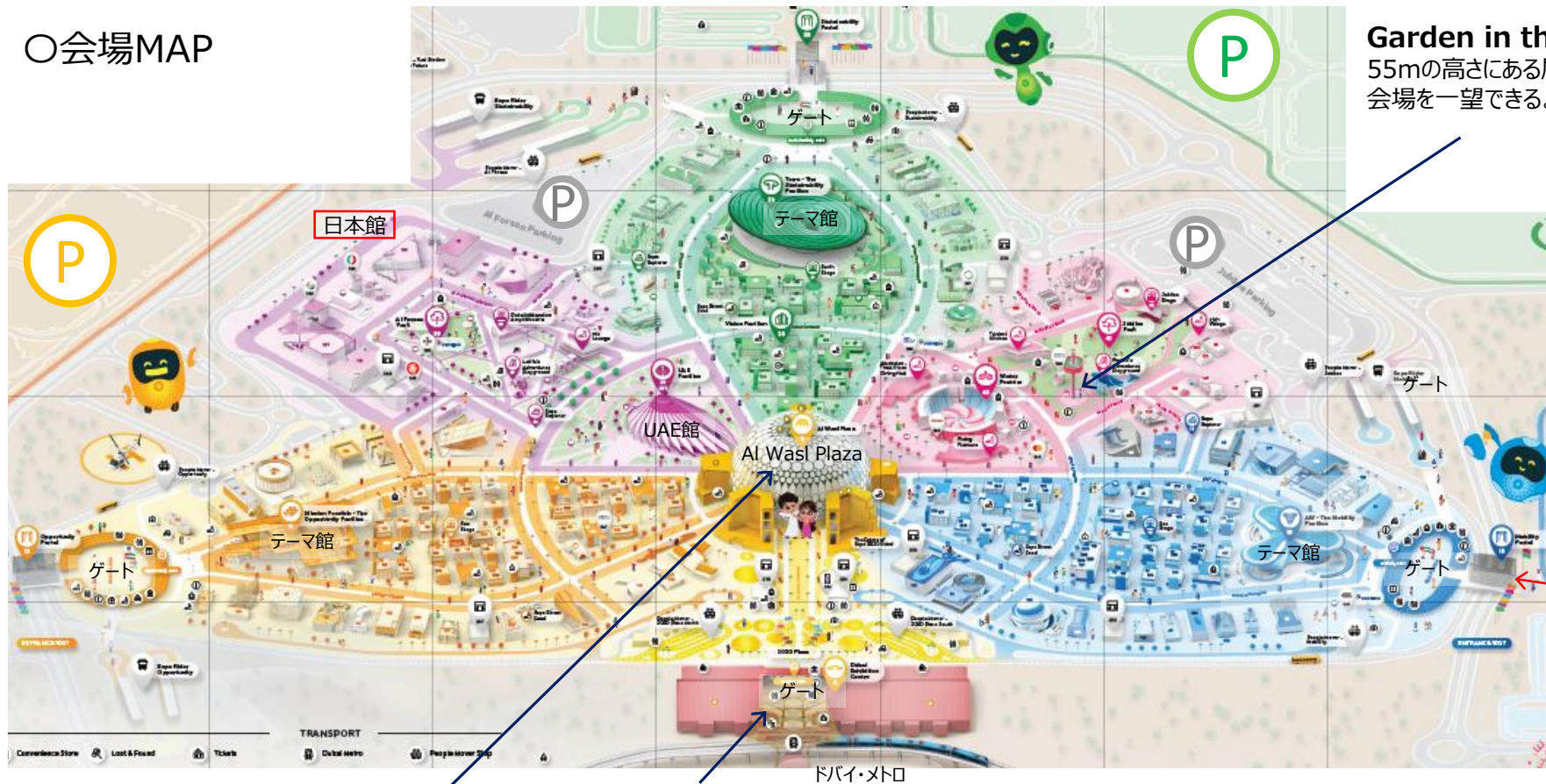


会期後に残る建物



2. ドバイ現地の状況

○会場MAP



Garden in the sky
55mの高さにある展望台は回転しており、会場を一望できる。



Portal (3ヶ所)
駐車場とゲートをつないでいる。



AI Wasl Plaza (大催事場)

高輝度プロジェクター242台(6台1組)を360度に設置。



AI Wasl ゲート

メトロからの来場者を迎えるメインゲート。閉会式などの催事が行われるAI Wasl Plazaにつながる。



2. ドバイ現地の状況

(2) 訪問パビリオン

〇概要

過去最多の192か国が参加したドバイ万博では、初めて各国が独立したパビリオンを出展した。これらのパビリオンは、各国がセルフビルドするものと運営者が建設提供するモジュール館からなる。各国による独自の工夫や特徴的な建物と展示により、多様な文化と人の交流がうまれていた。

イタリア館



エスカレーターで上がったのち、ロープで覆われた空間をスロープで降り、美の世界をテーマにした展示を鑑賞。



アイルランド館



西洋とイスラムの伝統を結び付けた上下移動の無い館内に、古くから伝わる民族工芸や楽器製造などで「インスピレーションの島」を表現。



フランス館



再生可能エネルギーへの移行などの課題に対する提案を展示。

UAE館（アラブ首長国連邦）



敷地面積は15,000㎡で、可動する28枚の「翼」により構成された建物。実際の砂漠の砂を使った展示や美しいパネル・映像により自国の成り立ちを紹介。



2. ドバイ現地の状況

マレーシア館



熱帯雨林を舞台にした映像で人々を惹きつけ、独自の取り組みを紹介。

スウェーデン館



砂漠の中の森をコンセプトとした木材により構築され、パビリオン内部は木の香りが広がる。



ジャマイカ館 モジュール館



自国の歴史やウサイン・ボルトの銅像、コーヒーカウンターなどをカラフルに展示。モジュール館の中でも特徴的。

モンゴル館 モジュール館



遊牧民の歴史や文化を紹介。本国から招聘した学芸員が展示を説明。

2. ドバイ現地の状況

オーストラリア館



展示のみでなく、メイン通路に面した開放的なフードコートにより多様な交流を促している。

ウクライナ館



4層の複雑な形状の建物で、世界初の太陽光パネル一体型ブラインドなど自国の技術を紹介。平和を祈るメッセージで壁が埋め尽くされている。



サウジアラビア館



敷地面積は13,000㎡に及び、建物前面の大きな鏡などはギネス世界記録も獲得した建築物であり、ダイナミックな映像展示で来館者を圧倒。地下には自然光を取り入れた空間がある。



2. ドバイ現地の状況

ノルウェー館



深海を表現した空間で、プロジェクターやモニターで海洋保護の重要性を映像にて提案。

ソロモン諸島館 モジュール館



小さな島々からなる自国の文化を展示、映像では人々の今の暮らしを紹介。

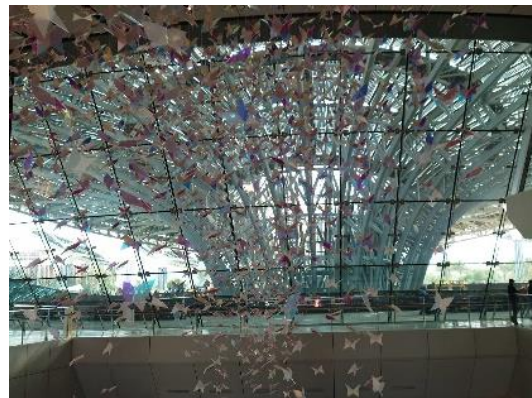
アメリカ館



自国の歴史と著名人の名言が展示されたエリアをベルトコンベアで移動。天井に吊るされた球体に地球や月が映し出されるエリアでは、宇宙への挑戦を紹介。



サステナビリティ パビリオン



キノコ状の傘に備え付けられた太陽光パネルによりエネルギーが賄われる。建物は会期後もレガシーとして使用予定。館内は、海洋汚染問題などを学び考えながら進んでいくストーリーを展示。

2. ドバイ現地の状況

エルサルバドル館 モジュール館



国の特徴や経済・産業についての紹介のほか、360度スクリーンでサーフィンの都としての魅力をアピール。エルサルバドル産のコーヒーを味わうことができるスペースも設置。

フィンランド館



館内には、木製の峡谷のような壁に囲まれ、自然の温かみや癒しを感じられるエリアがある一方で、国を代表する各企業の最新技術を紹介する展示もある。

ペルー館



人類発祥の地の一つであるペルー館では、美しい外観だけでなく、ペルーの自然や文化等を体験できる。

デンマーク館



SDGsを意識したデザインや工業製品を展示。50%超を民間出資で出展しており、ドバイ万博終了後もビジネス拠点として数年間活用予定。



2. ドバイ現地の状況

○展示の方向性・方法

テーマに対する自国の取組みの紹介や提案、自国の歴史・文化・技術・製品を紹介する国など、パビリオンの展示については、各国の状況等によって多様であった。

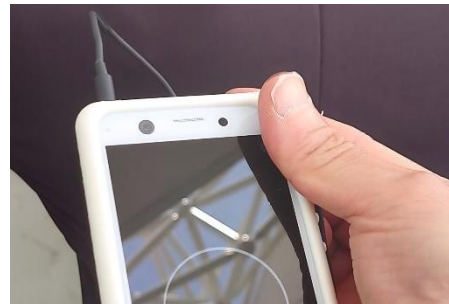
映像と音楽で来館者へメッセージを伝えるパビリオンが多かった。(写真はサウジアラビア館)



自国の技術や文化を展示するパビリオンも多い。(写真はアイルランド館)



日本館ではスマートフォンを使って各来場者の行動によりシーンを形成し、没入感のある展示を実施。



日本館では一般公募によるアテンダが来館者を案内。



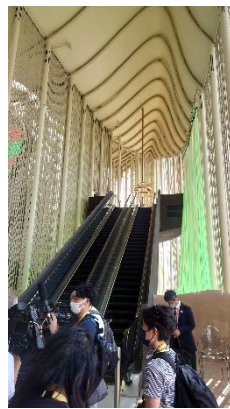
○展示の巡回の方法

パビリオン内の各展示室の巡回ルートとしては、スロープや通路でつながる場合、展示室が隣接する場合、また、上下移動があるためエスカレーターや階段、スロープでつながる場合など様々であった。

エレベーターで最上部へ上がり、スロープで降りながら展示を見せる例。



DPクルード館 (ドバイの港湾管理会社)



イタリア館

ベルトコンベアで移動しながら展示を見せる例。アメリカ館では、ベルトコンベアでの移動後に階段で上階に上がり、最後はスロープで降りる。



アメリカ館



オランダ館ではメッシュの斜路を設置。



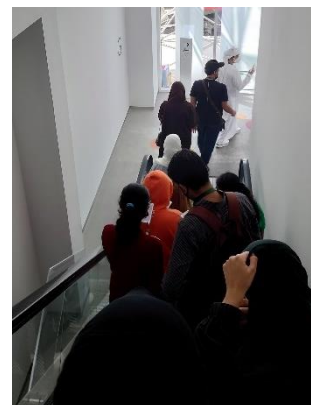
オランダ館

らせん階段をメインに、EVを設置。



サウジアラビア館

日本館は階段で2階へ上がり、展示巡回後はエスカレーターで降りる。



2. ドバイ現地の状況

○日本館の概要

展示デザイン部門『金賞』※自作パビリオン カテゴリー A(2,500㎡以上)

※パビリオンのサイズ・タイプに応じた5カテゴリで、3つの側面「建築と風景」「展示デザイン」「テーマの解釈」から合計51の金・銀・銅の賞が授与



来場者には観覧専用スマートフォンが貸与され、一人一人の行動をデータ化し、その時の来場者に応じたクライマックスシーンを形成。また、極微細ミストがひんやり漂う幻想的な世界とプロジェクションによる立体感のある美しい映像によって没入体験が実現されており、クライマックスシーンでは、一緒に展示を巡回した人達が一体となって未来の可能性を感じることができる演出がなされていた。ドバイ万博の各パビリオンの中で群を抜く完成度であり、展示デザイン部門「金賞」を受賞。2025年万博のリーディングパビリオンを目指す大阪として参考となるものであった。

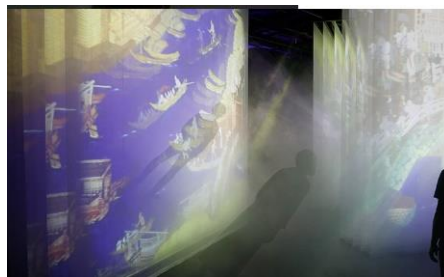
展示の流れ



1 日本との出会い



2 出会いの歴史としての文化



3 現代日本のテクノロジー



4 私たちの今と課題



5 アイディアの出会い



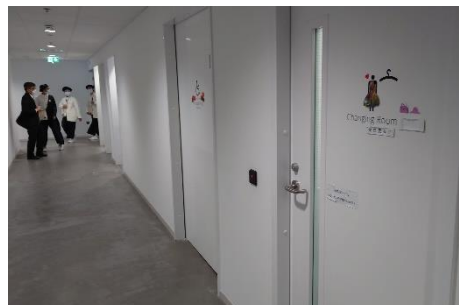
6 いのち輝く未来社会のデザイン Expo 2025 Osaka, Kansai, Japan



2. ドバイ現地の状況

○日本館のバックヤード

予算等の制約により十分なスペースのバックヤードを確保できていないとのことであったが、各スタッフのモチベーションは高く、運営面での改善や工夫を行うことで様々な課題に対応していた。



日本館のVIP対応施設

VIPは一般来場者用入り口とは別に正面から受入れ。施設裏側からの動線も確保。



VIPラウンジ。協賛企業の紹介もあり。



VIP応接室。3つの応接室で運用。



他のパビリオンのVIP対応施設

ラウンジ（スウェーデン館）



パーティールーム（オーストラリア館）



VIP応接室（スウェーデン館）



VIP応接室（オーストラリア館）



2. ドバイ現地の状況

○ライトアップの様子

夜になると各パビリオンがライトアップされ、昼間とは違った雰囲気が楽しめる。

Al Wasl Plazaでのプロジェクションマッピングは見る人を魅了していた。

Garden in the Skyからの会場の夜景



日本館



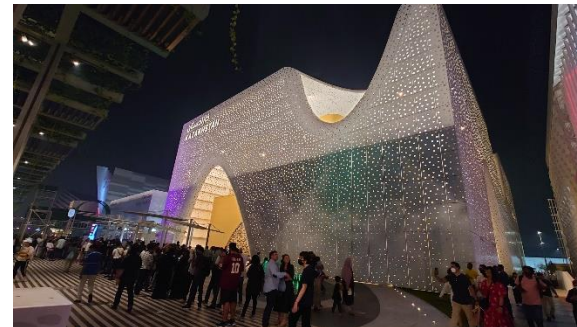
アメリカ館



UAE館



カザフスタン館



Al Wasl Plaza



2. ドバイ現地の状況

(3) 会場運営

○感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、18歳以上の入場者は、ワクチン接種証明書もしくは、72時間以内のPCR検査の陰性証明書が必要。証明書がない場合は、sustainabilityゲート（出入口）から1.5kmのところにあるPCR検査所で受検し、陰性を確認した上で入場する必要。手指消毒剤は会場内に多数設置している。マスク着用を促すサインもあるが、不着用の来場者も見受けられた。



PCR検査所



手指消毒剤



感染対策のアナウンス

○熱中症対策

日中の日差しが強く、夕方から来場される方が多い。主要な通路には日除けとなる屋根が設置され、日差しが和らげられている。また、熱中症対策としてマイボトル持参者には飲料水が提供されている。



日除けの屋根と噴水



飲料水を提供

2. ドバイ現地の状況

○セキュリティ対策

セキュリティ対策として、来場者は入場券確認後、金属探知ゲートを通過するとともに、持ち物のX線検査による確認を受ける。会場内外にカメラを設置し、防犯対策を実施している。



金属探知ゲート



会場内外のカメラ

○ユニバーサルデザイン対応

点字ブロックは設置されているが、会場内の動線を誘導する配置にはなっていない。多目的トイレでも点字や音声案内は未設置。



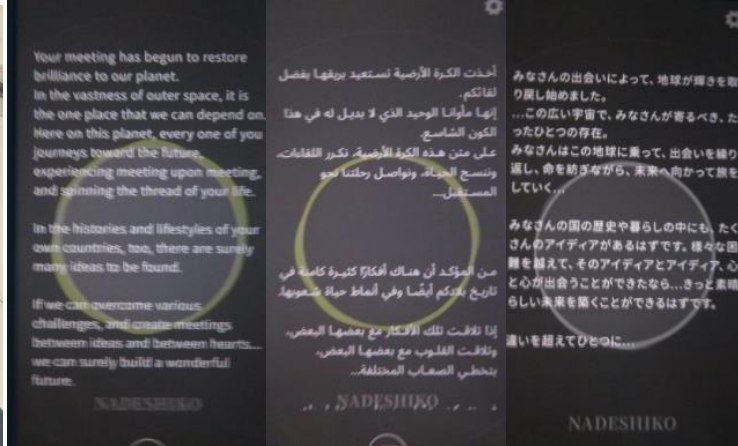
点字ブロック

○多言語対応

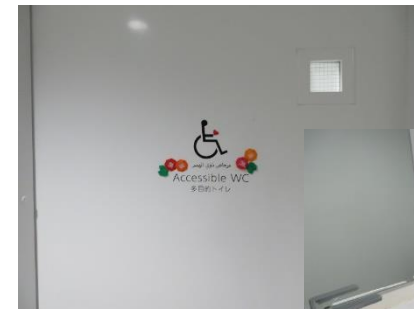
案内サインには英語とアラビア語が表記されている。各国パビリオンでは自国の言語も対応しているケースがある。パビリオンのパネルや映像は英語のみが多く、アラビア語の併記や字幕は少ない。場内アナウンスも式典以外は英語のみ。



英語、アラビア語表記



日本館の端末では英語、アラビア語、日本語対応



多目的トイレ



2. ドバイ現地の状況

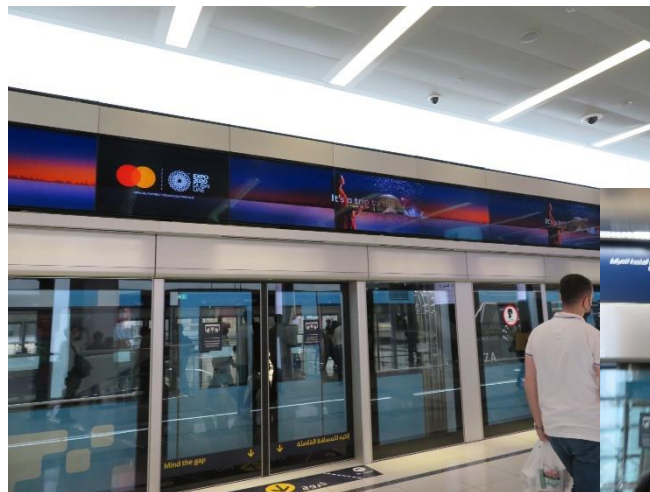
(4) 会場アクセス

○ドバイ・メトロ (鉄道)

メトロはドバイ道路交通局 (RTA) が経営しており、自動運転で5両編成、うち1両は日本のグリーン車に相当するゴールドクラスと女性専用 (朝夕のみ) の車両となっている。空港から万博会場の最寄り駅である「EXPO2020」駅までおよそ1時間19分、料金は8.5AED (約282円; 2022/3/30時点のレート)。車両には2ドアと3ドアが混ざっており、座席もロングシートとクロスシートが混在。座席数は1両あたり約50席で、案内表示や音声は英語・アラビア語。



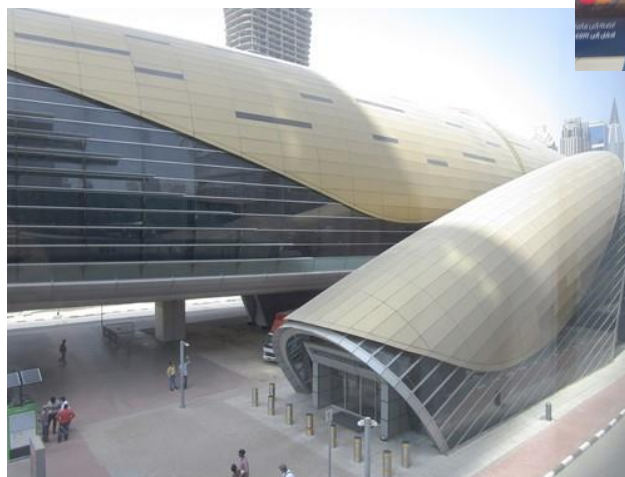
自動運転、5両編成



ホームドア設置



車内の状況



駅舎の外観

2. ドバイ現地の状況

○メトロのチケット購入

乗車券（紙製とICカードあり）は、キャッシュレスで購入でき、自動券売機でチケットの購入、チケットへのチャージが可能（英語、アラビア語対応）。レッドチケット（紙製）は1回券と1日乗車券があり、1回券は発行料金と乗車料金を支払い10回までチャージして再利用可能。1日乗車券は14AED（約464円）。

シルバーカード（ICカード）は乗車料金がレッドチケットより安価となるが、発行料金として25AED（約829円）が必要。（うち6AEDを発行手数料、19AEDを乗車料金として使用。）



券売機（キャッシュレス対応）



チケット売り場（有人）



レッドチケット（紙製）



ICへのチャージ画面

2. ドバイ現地の状況

○メトロ（改札内）

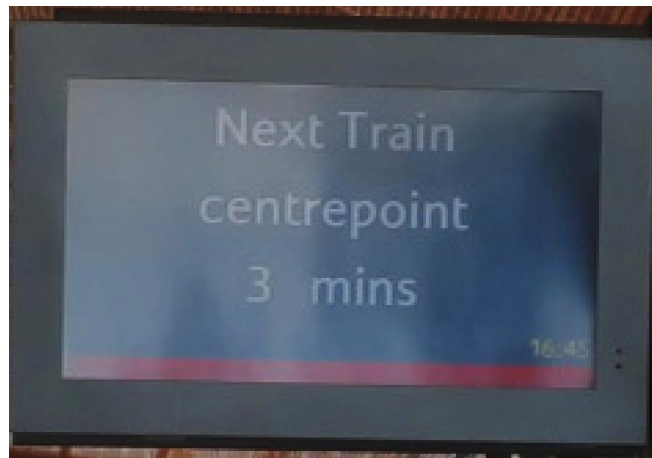
非接触型の改札機を通過すると、時刻表は見当たらないが、直近の列車の発車時刻が表示されている。万博会場の最寄り駅の名称が「EXPO2020」駅となっており、終着駅でもあることから乗車の際の案内が分かりやすい。プラットフォームでの案内表示は、次の電車の待ち時間が表示されている（ラッシュ時は3分間隔）。エスカレーターにはフットサインがあり、右側が「立ち止まる」表示で、左側が「walk」の表示。



改札機（非接触型）



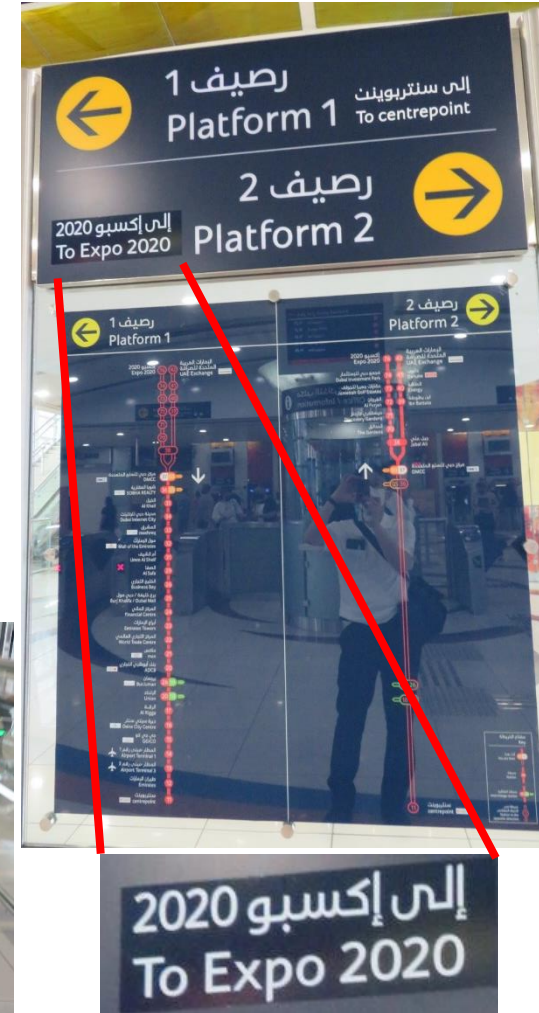
発車時刻



プラットフォームでの案内表示



エスカレーターのフットサイン

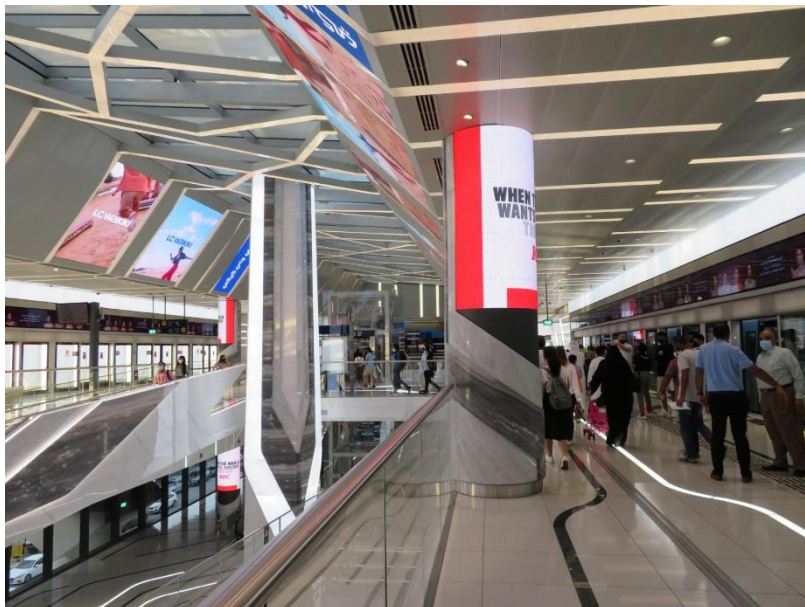


プラットフォームの案内

2. ドバイ現地の状況

EXPO2020駅

万博開幕に向け、空港からドバイモール等を通過する路線がさらに6駅延伸し、EXPO2020駅が開業。EXPO2020駅はプラットフォームが3つあり、1番線が発車ホーム、2・3番線が到着ホームとなっている。改札口が2か所あり、改札機は合計20台。19時以降は、万博からの退場者が乗車券を購入するため、売場が混雑しており、閉幕式（3月31日）の19時は改札口を制限するほどの混雑であった。



プラットフォーム（到着ホーム）



改札口



退場混雑時

2. ドバイ現地の状況

OEXPO RIDER (バス)

EXPO RIDERと呼ばれる路線バスが、ドバイ国際空港やドバイモールなどのドバイ市内11か所にある発着場、及びドバイ以外の地域9か所の発着場から無料で運行されている（万博の入場券が必要）。このバスは万博会場の3つのゲート（Sustainability, Opportunity, Mobility）にあるターミナルまで運行されている。



ドバイ交通局（RTA）の路線バス

EXPO 2020 DUBAI UAE
EXPO RIDER
FREE OF CHARGE BUS SERVICE FOR EXPO 2020 VISITORS



Last departures from the Expo Station are at 00:00 Saturday to Wednesday and 01:00 Thursday to Friday.

EMIRATE	RIDER PICK UP / DROP OFF STATIONS	EXPO STATIONS	FIRST PICK UP TIMING	PEAK FREQUENCY
ABU DHABI	Abu Dhabi Airport	Mobility	07:36	20 min
	Abu Dhabi Marina Mall	Mobility	07:35	20 min
	Abu Dhabi City, Al Zahyah Bus Terminal	Mobility	07:40	20 min
	Al Ain Central Bus Station	Sustainability	06:45	20 min
	DXB Airport Terminal 3	Mobility	08:35	20 min
	Novotel Hotel, DWTC	Mobility	08:40	20 min
DUBAI	Jumeirah Beach Residence Station 1	Opportunity	09:01	15 min
	Palm Jumeirah Monorail Station	Opportunity	08:51	15 min
	Al Baraha Bus Station 5	Sustainability	07:40	25 min
	Al Ghubaiba Bus Station 37	Sustainability	08:10	15 min
	International City Expo Parking	Sustainability	08:05	15 min
	Dubai Silicon Oasis Expo Station	Sustainability	08:25	15 min
SHARJAH	Etisalat Metro Bus Station 18	Sustainability	08:25	20 min
	Global Village	Sustainability	12:45	60 min
	The Dubai Mall 2	Sustainability	08:35	30 min
	Al Jubail Bus Station	Opportunity	08:00	20 min
	Al Muallah Bus Station	Opportunity	08:21	15 min
	Ras Al Khaimah Bus Station	Opportunity	06:39	60 min
NORTHERN EMIRATES	Ajman, Al Muntazi Bus Station	Opportunity	07:30	60 min
	Fujairah City Centre	Sustainability	06:35	120 min

案内表示



ラッピングしている車両が多数あり

車両は万博の会期後、路線バスとして運行できる仕様となっており、「つぎ止まります」ボタンが設置。車内にはつり革はないが、立ち乗りも可能、ノンステップでスロープも準備されており車椅子に対応。定刻になれば車内で発車サインが表示。

2. ドバイ現地の状況

OEXPO RIDER（バス発着場）

万博会場の3つのゲートにあるターミナルには、バス発着場が設けられている。

会場外の発着場についても案内表示はあるが、鉄道駅等から付近にあるバス発着場へ誘導する案内が無く、アプリ検索して場所を見つけるなどの必要がある。

会場外の一部の発着場では、待合所が整備されている。



会場（sustainability park）のバス発着場



会場外発着場（Palm jumeirah）
の待合所



EXPO RIDER(バス) の発着場の一つは、非常に大きなショッピングモールであるドバイモールの一角にある。

会場外発着所の一つPalm jumeirahから運行されるバスは、ルート途中のビーチにある停留所でも利用者をピックアップして会場に向かう。

万博会場からの退場者が集中する際は満車になり、バス利用者の積み残しが発生することもあったが、増便はしていないとのこと。

2. ドバイ現地の状況

○駐車場

駐車場は会場の3つのゲートにあるターミナルに設置されており、無料で利用可能。会期末の週末は満車となり、Twitterで満車情報を発信していた。

駐車場は広大で、駐車場から各ゲートまでシャトルバスが無料で運行されている。

身体障がい者用駐車場も設置されているが、ゲートまでは距離がある。

係員付き駐車場（Valet parking）は95AED（約3150円）の費用がかかるが、無料駐車場よりも先に満車となっていた。



会場（Opportunity park）の駐車場



会場（Mobility park）の駐車場



身体障がい者用駐車場



駐車場から各ゲートまではシャトルバスが運行（無料）



Valet parking
（係員が駐車を代行し、出庫時に車を出してくれる；有料）

2. ドバイ現地の状況

○タクシー

タクシーは3箇所のゲートにあるターミナルで乗車可能であり、多数の車両が待機。市中ではUberのような配車サービスもある。



会場のタクシー乗り場



タクシー待機所

○団体バス

団体客を運ぶツアーバスやチャーターバス（白色で統一）は、乗降時間を事前にインターネットで予約（有料）することで、駐車場に併設されている専用乗降場の利用と待機所での駐車が可能。



団体バスの待機所

2. ドバイ現地の状況

(5) 会場内のモビリティ

○People mover、People explorer

会場が広大なため、会場外周を巡回するPeople mover、会場のゾーン内を巡回するPeople explorerが無料で運行されている。



10～15分間隔で外周道路を巡回する
People mover



会場のゾーン内を機関車タイプと未来型タイプの電動車（People explorer）
が巡回（30分間隔）



○EXPO buggy

EXPO buggyは乗員ごとの行き先に応じた運行をしていた。優先ゾーンがあるものの、来場者が多数の場合は路面上のサインが見えにくかった。歩行者にぶつからないよう徐行運転している。



有料のEXPO buggy

○その他

電動自転車、電動キックボードは有料。
クッション性の高い赤色の舗装は、万博終了後も歩行者通路として活用予定。



電動自転車、電動キックボード



クッション性の高い舗装

2. ドバイ現地の状況

(6) 会場外の状況 (シティドレッシング)

○ドバイ国際空港

ドバイ国際空港の入国審査後の動線には、インパクトのあるデジタルサイネージや休憩所があった。



入国審査後の動線上のサイネージ



休憩所

○広告

高速道路沿いのスポンサー企業の看板の他には、ショッピングセンター内も含め、街中で万博の広告を見かけることはなかった。



高速道路沿いの広告

○構造物

会場周辺の道路橋の高欄にはロゴマークをモチーフとした装飾を施していた。



道路橋の高欄（ロゴマーク）

3. 知事・市長による活動報告

(1) 参加招請活動

知事・市長が各国の出展するパビリオンにおいて、大阪・関西万博のPRを行うなど、参加招請活動等を実施。各国から万博参加について前向きな発言をいただいた。その他、公式式典や旗渡式等にも出席した。

◆招請活動（パビリオンの訪問）について <訪問パビリオン数 計21箇所、うち参加未表明国12か国>

		訪問先	参加表明の有無	相手方	
3/29(火)	知事	日本	—	安藤館長、内藤プロデューサー 等	 アイルランド
		イタリア	表明済み	(政府代表) Mr. Paolo Glisenti	
		アイルランド	未表明 ※4/19に参加表明	(政府代表) Mr. Pat Hennessy	
		マレーシア	未表明 ※4/19に参加表明	(館長) Ms. Michelle Lau Sook YeeL	
3/30(水)	知事	スウェーデン	未表明	(政府代表) Mr. Jan Thesleff	 スウェーデン
		ジャマイカ	未表明	(政府代表) Mr. Essie Gardner	
		モンゴル	未表明 ※5/10に参加表明	(館長) Ms. Battulga Ch	
	市長	ペルー	未表明	(館長) Mr. Marcelo Carballar	 マレーシア
		エルサルバドル	未表明 ※4/8に参加表明	(政府代表) Mr. ANTONIO GÓMEZ GÓCHEZ	

3. 知事・市長による活動報告

		訪問先	参加表明の有無	相手方
3/31(木)	知事	ノルウェー	未表明	(副政府代表) Mr. Dag Olav C Koppervik
		オーストラリア	表明済み	—
	市長	デンマーク	未表明	(館長) Mr. Jens Lund
		フィンランド	未表明	(政府代表) Mr. Severi Keinälä
	知事&市長	ウクライナ	未表明	(館長) Mr. Ivan Sydorenko
		ソロモン諸島	未表明	(館長) H.E. Mr. Moses Kouni MOSE
		サウジアラビア	表明済み	(政府代表) Mr. Hussain Nabeel Hanbazazah
		アメリカ	表明済み	(副政府代表) Mr. Mathew ASADA
		サステナビリティ (テーマ館)	—	—



デンマーク



フィンランド



ウクライナ



サウジアラビア



アメリカ

上記の他、B I Eデーにおけるパビリオン巡覧で、World Expo Museum、フランス館、UAE館を視察。
 (※ドバイ万博の開催期間：2021.10.1～2022.3.31 開催場所：アラブ首長国連邦 来場者数：約2,410万人)
 (※大阪・関西万博への参加表明国 106か国・7国際機関 (2022年5月10日時点))

3. 知事・市長による活動報告

(2) 公式式典等への参加

3月30日に開催されたBIEデー及び31日の閉幕式等の公式式典に、次期開催地の首長として参加。

BIEデー

○公式式典（午前の部）

（大阪・関西万博ショートパフォーマンス 等）

○オフィシャルビジット

（World Expo Museum、フランス館、日本館、UAE館を巡覧）

○午餐会

○公式式典（夜の部）

（各賞授与式、大阪・関西万博パフォーマンス 等）

⇒日本館が展示デザイン部門で金賞を受賞



公式式典



旗渡し式

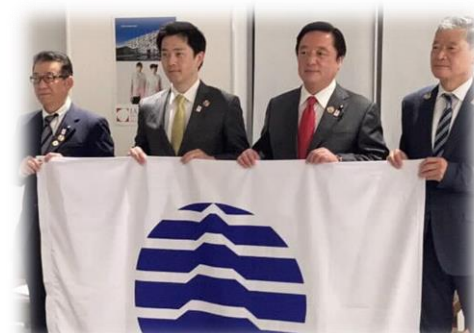
閉幕式

○旗渡し式

若宮国際博覧会担当大臣及び吉村知事がBIE旗を受領



閉幕式の様子



閉幕式後の囲み取材

OBIEデー、閉幕式、旗渡し式の様子



Al Wasl Plaza（閉幕式）



ドバイ万博会場

(3) 国内外のメディアに向けたPR

海外及び国内メディア向けにメディアカンファレンスを実施し、2025年の大阪・関西万博についてPR

○会場内のメディアセンターにて、メディアカンファレンスを実施



メディアカンファレンス（海外向け）

海外/国内向けPRを行い、国内外のTVや新聞、WEB等で多数のニュースに取り上げられた

4. 現地レポート総括（まとめ）

1. ドバイ国際博覧会の概要

- ・建国後わずか50年のU A E（アラブ首長国連邦）が、国威発揚を目的として開催した中東初の万博である。
- ・我が国を含む成熟国家の共通課題である健康・医療問題などの「いのち」をテーマとした課題対応型の大阪・関西万博とは対照的に、新興国U A Eらしい「心をつなぎ、未来を創る」が開催テーマに掲げられた。
- ・会場面積は約438ha、その建設費は約70億ドル（約8,000億円）と大阪・関西万博の約3～4倍の規模である。
- ・コロナ禍でも総入場者数約2,500万人の目標は修正せず、開幕直前の2021年8月末からワクチン接種済を条件に観光ビザ発給の対象国を拡大するなど海外からの集客を図った結果、ほぼ目標通りの約2,410万人の入場者を達成した。

➡大阪・関西万博との比較・考察においては、上記のような開催目的や投資額、規模などの相違点に留意する必要がある。

2. ドバイ現地の状況（視察概要）

1) 万博会場

- ・広大な会場はサブテーマなどに準じて6つのゾーンで構成され、4つの会場ゲートが設置されていた。このゾーニングは、来場者への分かりやすさや入退場の円滑化に有効であると感じられた。また、会場内外のナイトカルチャーが充実しており、観光客が楽しめる環境整備が行われていた。
- ・一方、来場者が一日で会場を回りきることが困難なほど会場は広大。また、会場内のモビリティは、有人運転を基本としており、無人運転化の検討の可能性を感じた。さらなる暑さ対策の必要性も感じた。

➡大阪・関西万博でも、こうしたゾーニングが行われる予定である（3ゾーン、2ゲート）。また、ドバイ博で得られた教訓（会場内の移動、暑さ対策、観光客へのおもてなし等）を踏まえた対策を行うべきである。

2) 訪問パビリオン

- ・万博初となる全参加国の1国1パビリオンを実現していた。背景として「①参加国がパビリオンを自ら建設・展示するセルフビルド方式」に加えて、「②運営者がパビリオンを建設して参加国に提供するモジュール方式」の適用があり、建設資金を捻出できない参加国も、②により単独パビリオンによる展示が可能となっていた。
- ・この結果、参加各国の各パビリオンとも総じて十分な展示スペースが確保されていると感じられた。
- ・パビリオン内の展示の巡回方法については、展示室をスロープや通路でつなぐ場合、展示室が隣接する場合、また上下移動を伴う場合にエスカレーターや階段、スロープでつなぐなど様々であった。車いすの方のエレベーターが巡回ルートから離れて設置されているパビリオンがあったり、モジュール館の中には、展示を鑑賞する際の通路が狭いものがあるなど、ユニバーサルデザインの観点からの課題も見受けられた。
- ・展示の方向性・方法については、多くのパビリオンでは出展者側からの映像等を活用した情報発信が中心であったが、日本館は体験型・対話型の展示となっており、来場者の人気を博していた（展示デザイン部門の金賞を受賞）。

➡大阪パビリオンの出展にあたっては、評価の高かった日本館をはじめとした各パビリオンの展示方法などを改めて分析し、体験型・対話型の展示やユニバーサルデザインの観点から誰もが安心して楽しめるパビリオンをめざし検討を進める必要がある。

3) 会場運営

- ・入場の際にはコロナ感染症対策としてのワクチン接種証明等の提示や、安全対策としての金属探知ゲートによるチェックなど、日本国内のイベントでも見られる対応がなされていた。警備面においては、制服ではなく私服警官を配置することで会場内の雰囲気にも配慮されていた。
- ・会場内の案内は英語とアラビア語、または英語のみの表記のケースが多かった。
- ・ユニバーサルデザインという点では、段差や急勾配のスロープがあったり、点字ブロックによる誘導も少なく、課題が見受けられた。
- ・会場内のWi-Fi等がつながりにくく、大容量の情報通信基盤の構築の必要性を感じた。

➡大阪・関西万博では、ハード・ソフト両面でのユニバーサルデザインの充実やWi-Fi等の情報通信基盤の強化を図ることが求められる。

4) 会場アクセス

- ・万博開催に合わせて延伸整備された鉄道(5両編成)が、ラッシュ時には約3分間隔で運行されていた。
- ・また、ドバイ空港やドバイ中心部など計20ヶ所から会場へのシャトルバスが無料で運行されていた。（万博の入場券が必要）
- ・会場に隣接した場所に、少なくとも2.5万台（少し離れた場所にはさらに数千台規模）を収容する駐車場や、会場へ至る往復10車線の高規格道路が整備されていた。また、会場とをつなぐシャトルバスや駐車場は基本的に無料であった。
- ・鉄道やシャトルバスはあるものの、主たるアクセス手段としては自家用車で直接会場に乗入れることが想定されているようだった。

➡大阪・関西万博では、チケットングによる来場者需要の平準化や会場外駐車場への交通をICT等の活用により高速道路利用に誘導する方策など、交通需要マネジメントに取り組み、円滑な交通アクセスの実現をめざす必要がある。

3. 知事・市長の活動概要

1) 参加招請活動

- ・現地滞在は知事が3日間、市長は2日間という限られた時間の中で、計21箇所のパビリオンを表敬訪問し（うち大阪・関西万博への参加未表明国は12カ国）、各国の政府代表等へ大阪・関西万博のP Rや参加招請活動を行った。

2) 公式行事への参加

- ・3月30日のB I Eデーでは、午前中に開催された公式式典に出席した。また午後からは、オフィシャルビジット（主たるパビリオンの巡覧）や午餐会に参加し、夕方から22時まで開催されたカクテルレセプションにも出席した。（これらの公式行事には若宮大臣も出席）。
- ・3月31日夕方より開催された閉幕式にB I EやU A Eの代表団や若宮大臣らとともに出席した。吉村知事は次期開催地の代表として、若宮大臣とともにB I E旗を受領した。

3) 国内外のメディアに向けたP R

- ・3月30日の午後に、会場内のメディアセンターにてメディアカンファレンスを実施した（海外向けと国内向けの計2回実施）。また3月29日と31日の夕刻には、国内メディア向けに囲み取材を行った。